

41年度一般会計など決算きまる

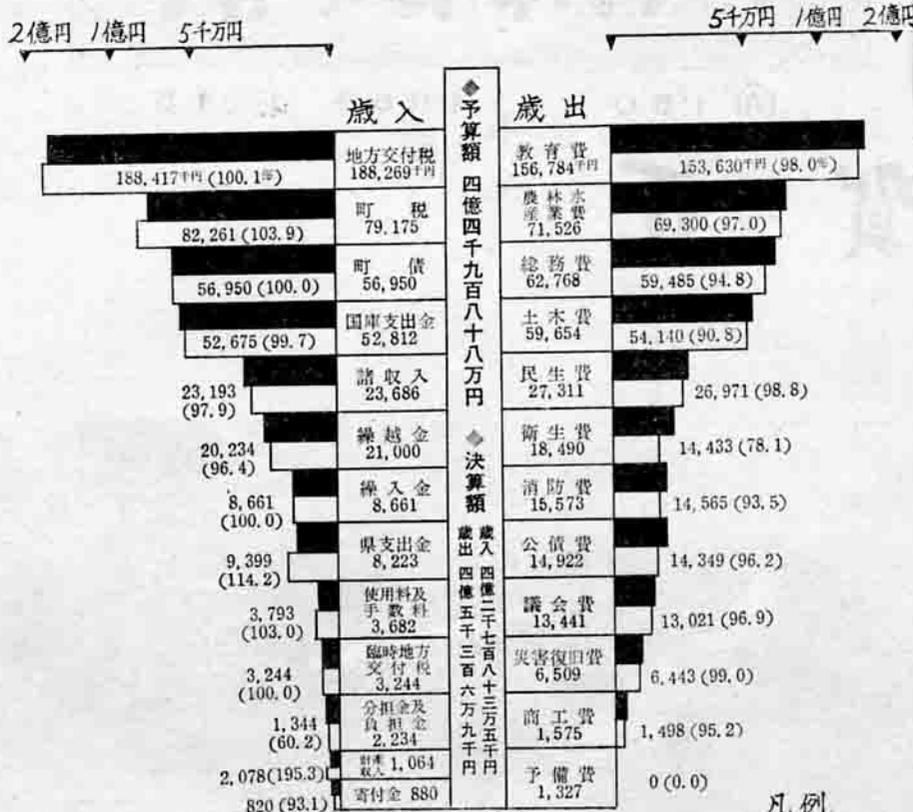
歳入のほとんどが依存財源

町の予算に対する決算がどうなるか、決算は、毎年五月三十一日に行なうことになっており、昭和四十一年度の一般会計、特別会計などの決算について、議会の認定をえたので公表いたします。

ことになってくるものです。左表のように、予算額は四億四千九百八十八万円で決算額は四億五千三百六十九万九千円と、これは予算額に對し一〇〇・八％になりました。

昭和41年度の決算状況

一般会計



湯袋の観光道路を改良

工費六百万円で三月末に完成

東筑波観光の一翼をになう観光道路(通称根場林道)が、これまで一方通行となっていたが、この道路を改良して立派な道路とすることに、その改良工事が進められています。

工事は、大字小幡湯袋パーベキョー街を経て風返し峠の筑波スカイラインを結ぶ道路の改良工事で、昨年十二月二十日指名競争入札により、常洋建設KKと五百九十六万円で請負契約しました。

現在、二の観光道路は、延長六九〇メートルに及ぶ排水施設を行なうほか、この制限を受けるの口付けを大きく改良することになります。

途中、一四カ所の待避所の設置、延長六九〇メートルに及ぶ排水施設を行なうほか、この制限を受けるの口付けを大きく改良することになります。

改正された手当額

区分	扶養児童数	改正額	現行額
児童扶養手当	児童1人につき	1,700	1,400
	2人	2,400	2,100
	3人以上は1人につき	400円を加算	-
特別児童扶養手当	1人につき	1,700	1,400

児童扶養手当制度は、これらの生別世帯ならびに、これらに準ずる世帯に對しても手当を支給することに、児童の

この制度は、家庭において介護されている重度の精神薄弱児を対象に、その生活の向上に寄与することを趣旨とし、重度精神薄弱児扶養手当を支給することにより、その福祉の増進を図ることを目的として、昭和三十九年九月から発足し、以後重症身体障害児を含めた特別児童扶養手当として支給されています。

特別会計



児童扶養手当額を改正

本年の一月から三百円増加

児童及び特別児童扶養手当額が、本年一月以降の月分の手当額から上表のように改正になりました。

児童扶養手当とは

一家の主柱である夫を失った母子世帯は、生別、死別を問わず、社会的、経済的に困窮しているということが、多く見受けられます。

特別児童扶養手当とは

この制度は、家庭において介護されている重度の精神薄弱児を対象に、その生活の向上に寄与することを趣旨とし、重度精神薄弱児扶養手当を支給することにより、その福祉の増進を図ることを目的として、昭和三十九年九月から発足し、以後重症身体障害児を含めた特別児童扶養手当として支給されています。

米の出荷数量九万五千俵に

一昨年より二万俵も増加

42年産米の出荷まとめ

集荷業者名	目標数量 (俵)	出荷数量 (俵)	比率 (%)
八郷農協	69,400	79,639	114.8
小桜	10,036	12,319	122.7
中田商店	816	924	113.2
関	1,298	1,750	134.8
合計	81,550	94,632	116.0

昨年の稲作は、全国的な豊作に恵まれましたが、八郷町も大豊作で、米の出荷は、陸稲合わせて目標額を一万五千俵も上回る九四、六三二俵が出荷されました。

稲作は天候に大きく左右されますが、昨年は稲作にもっともたいせつな時期の五月から九月にかけて、例年にならぬ異常干ばつに見舞われ、米の大幅な減収が予想されましたが、その後の天候の回復と農家の皆さんの努力によって、水稲は豊作となりました。しかし、陸稲は干ばつを受けて減収となりました。

米の出荷数量は一昨年と比較すると、一昨年が七五、一六三俵です。一昨年は一六三俵も出荷が増えたことになりました。

このため、八郷町の農家は、米で約七億五千五百万円(たばこは約六億一千万円)のお金をはいたことになりました。なお、米の目標数量及び出荷数量は上表のとおりです。

水、陸稲の共済金が決定

近日中に支払いを行ないます

昭和四十二年産水陸稲の共済金が決定したので、近日中に支払いを行ないます。

このほど、農林省から共済金の支払いをするとの連絡がありました。昨年の水稲は史上最高といわれる豊作であったため、被害率とおりです。

なお、共済金の内訳は次の通りです。

地区名	42年産 水、陸稲共済金	
	水 稲 (円)	陸 稲 (円)
柿岡	628,650	850,320
小幡	1,297,900	316,680
芦穂	1,200,600	891,840
恋瀬	990,700	1,280,220
瓦会	705,700	735,540
園部	998,950	1,672,020
林	970,800	1,273,200
小桜	1,187,150	427,680
合計	7,980,450	7,447,500



戸籍のとう、抄本一枚が50円になる

今年一月一日から戸籍のとう本、抄本の交付手数料が改正になりました。国で決めるもので、町で決めるものではありません。今度の改正も昭和二十四年以来始めてのもので、全国共通の手数料となっています。

改正では、これまでとう本、抄本一枚について四十

戸籍のとう、抄本一枚が50円になる

今年一月一日から戸籍のとう本、抄本の交付手数料が改正になりました。国で決めるもので、町で決めるものではありません。今度の改正も昭和二十四年以来始めてのもので、全国共通の手数料となっています。

改正では、これまでとう本、抄本一枚について四十

1月の納税

町民税 第4期

国保税 第4期

麦共済掛金

有線放送使用料

壮年者スポーツテスト

1月28日(日)

八郷公民館

八郷公民館グラウンド

第2回臨時議会

1月25日(木)

役場議場

郷土をよくする

中央研究会

2月 7 14 21 28

心配ごと 日 日 日 日

心相談 2月 7 14 21 28

活躍が期待される 新しい議員の横顔

昨年12月15日に議会議員の選挙が行なわれ、新しい議員が決定し、今後4年間にわたり、町のために活躍が期待されます。ここに、新議員の写真を紹介しました。
なお、写真の順序は右から左へと議席順です。



小池義政議員
小 幡 業
農 業

菊地茂雄議員
柿 岡
書籍文具商

大岡利夫議員
中 戸
農 業

岩瀬孝雄議員
山 崎
農 業

手賀 寧 議員
片 野
農 業

萩原孝治議員
柿 岡
製 油 業

田中 弘 議員
瓦 谷
農 業

桜井浩蔵議員
小 埜
医 師

三輪秀男議員
上 曾
農 業

峯 広近議員
上 曾
会 社 社 長

島田億蔵議員
山 崎
農 業

斉藤正巳議員
東 成 井
農 業

菊地秀雄議員
吉 生
農 業

原田 孟 議員
半 田
農 業

川井林平議員
柿 岡
農 業

鈴木重美議員
瓦 谷
農 業

馬立林蔵議員
上 曾
農 業

飯塚満貞議員
下 林
農 業

関口栄一議員
根 小 屋
農 業

中村謙一議員
柿 岡
商 業

田上嘉雄議員
青 田
農 業

宮城英一議員
大 増
農 業

桜井 馬立 氏を選出

人事関係が中心になった初議会

新議員による初の議会が開かれ、議長、副議長を選出するとともに、常任委員会の構成、監査委員や選挙管理委員会などの委員の選出などを行なって、第一回の議会を終了した。

第1回臨時議会

新議員による昭和四十三年初の第一回臨時議会が一月八日に開かれ、新しい議長に桜井浩蔵氏、副議長に馬立林蔵氏を選ばれた。初議会には、新議員が全員出席し、議長、副議長の選出や、常任委員会の構成など、人事関係の議案が中心となったが、まず前議長に桜井浩蔵氏が最年長で仮議長になった。

議会委員会条例の一部を改正

議事日程

つづいて、新議員の自己紹介、町長あいさつ、議会事務局、役場の各課室局長の紹介などがあつたあと、議事日程にはいった。

そして、正、副議長の選挙は投票で行なわれ、議長に桜井浩蔵氏、副議長に馬立林蔵

氏を選ばれた。また、議会委員会条例の一部改正や監査委員の選任などが原案どおり可決された。

常任委員会の構成、可決された議案は次のとおりです。

監査委員に関口栄一氏

「歳末たすけあい運動」皆さんの協力で20万円に

「恵まれない人々に、楽しいお正月を」と、町でも歳末たすけあい運動を昨年十月一日から十二月末まで、

町民のかたがたに呼びかけましたところ、たくさんのかたがたのご協力によりまして、二十万一千百六十六円の寄付が集まりました。

これらのお金は、町内の恵まれない家庭におわけいたしまして、楽しいお正月を迎えていただきました。ご協力ありがとうございました。

なお、篤志寄付をいただきましたかたがたの名前は

▽小幡小学校 武田美智代 四百四十六円

▽八郷農協 鬼沢 隆 一千八百八十八円

▽柿岡 菊地四郎 五百円

▽柿岡 荒宿子ども会 二千四百七十円

議会委員会の委員

総務常任委員会
○原田 孟 菊地 茂雄
○手賀 寧 桜井 浩蔵
馬立 林蔵 岩瀬 孝雄

教育民生常任委員会
○三輪 秀男 宮城 英一
○田上 嘉雄 鈴木 重美

産業経済常任委員会
○川井 林平 島田 億蔵
○飯塚 満貞 菊地 英雄

土木建設常任委員会
○関口 栄一 小池 義政
○峯 広近 大岡 利夫

萩原 孝治 斉藤 正巳

(注) ○印は委員長、○印委
員長代理

選挙管理委員会委員
中島 要 小倉 市村 隆一 宇治会 加藤 太郎 下林 岡崎 格之輔 川又 補充員

桜井 隆一 柿岡 広瀬 桂 須釜 浅野 篤 中戸 大槻 宗兵衛 東成 井

石岡地区農業近代化施設整備組合議会議員
馬立 林蔵 原田 孟 大岡 利夫

牛乳を無償で配布

昨年の十二月二十七日、柿岡下宿の久保田牛乳店は柿岡保育所の全児童(六六名)に牛乳を一本づつ寄贈しました。

鹿品回収の金を寄贈

柿岡の下宿子ども会では鹿品回収をして売却した代金一万一千三百五十五円を、老人福祉センターの施設資金として使ってくださいと寄贈された。

▽柿岡 中村はる 一万円

▽八郷町老人クラブ連合会 二万五千元

▽石岡ライオンズクラブ 一万円

▽柿岡 菊地長四郎、吉田 司、小井戸正 一万五千元

▽役場 堀江千代子 一千八百八十八円

▽八郷農協 鬼沢 隆 一千八百八十八円

▽柿岡 菊地四郎 五百円

▽柿岡 荒宿子ども会 二千四百七十円

▽小幡小学校 武田美智代 四百四十六円

▽八郷農協 鬼沢 隆 一千八百八十八円

▽柿岡 菊地四郎 五百円

▽柿岡 荒宿子ども会 二千四百七十円



片言

成人式を迎えられた皆さんおめでとう。皆さんは、創造への勇気を持っています。

同時によい伝統を守り抜く勇気も持っています。町の明日を築くのは皆さんの勇気

最近の風潮として、古いものはすべて封建的として葬り去ろうとするものがある

皆さんのよい伝統を守り抜く勇気こそ、明るく住みよい八郷町を作り上げる原動力

一九六七年は、私たちの周りにさまざまなできごとや話題がうず巻き、文字通り「多事多難」の年だった。「明治百年」に当たる今年こそ、明るいニュースで埋まることが私たちの願いであり、ぜひ実現したいものです。

聖徳太子とけんか

聖徳太子が、幼少のときのことであった。ある日のこと兄弟の皇子たちといっしょに御所の庭で遊んでいるうちに、なにかのことでけんかがおこり、みんなで大さわぎを起していた。するとそこへ、父君の用命天皇がでてきて「なにをやかましくさわいでいるのか」といって叱った。

ほかの皇子たちはおどろいてみんないっしょに逃げてしまったが、太子一人だけは逃げようとしなくてつっ立って

新しい年の

「楔(くさび)」



「お前は、どうして逃げないのか」とたずねられると、太子は「はい、ここから逃げることができません。天にはしごしてのぼることはできませんし、地に穴してかくれることはできません。それに逃げたとして、さわいでいた罪は消えるわけはありませんので、私は進んでお父上のお叱りをうけ、今後のつつしみにしたいと思っております」と答えたのである。

「人間」と「罪」

人間は、なんらかの罪なくしては存在し得ない宿命下にあるだけに、その罪をみずからのものとして意識するときにこそ、はじめて人間たりうるものであることに気づかねばならない。

「罪」の意識

話の主人公が、聖徳太子というまれにみる人格者のせいなのか、どうも作爲性のほうがさきに感じられてそれに抵抗し、素直にすつと受けとれない点のあることはたしかである。だが、それが歴史的事実ではないにしろ、こういう

鹿島神宮でのおごそかに式典

成人者381名の門出を祝福



成人者の姿がみられなくなった。式典には、該当者五三八名のうち三八一名が参加、来賓も町議会議長、副議長、議長常任委員長、教育委員会委員長らが出席した。成人者は、朝早くからバス七台に分乗して町を出発、九時に鹿島につき予定どおり九時三十分から式典にはいる。教育長の開式のこぼ、各地区代表の昇殿、玉串奉奠のあと全員が御神酒をいただく。成人証書及び記念品を町長から代表者へ授与する。そして町長は、成人者の門出を祝福し、成人者に期待するとのお祝いのことばをのべた。また来賓を代表して桜井議長が祝辞をのべた。

新しい図書

- ▷夜の交差点
- ▷殺人の棋譜
- ▷流れ藻
- ▷十六文からす堂
- ▷異端の三河武士
- ▷狼と鷹
- ▷飛騨忍法帖
- ▷剣鬼忍者からす
- ▷七人の刑事
- ▷青年時代
- ▷青い殺人者
- ▷私の殺した男
- ▷いまに陽に昇る
- ▷眠の皮膚
- ▷愛と幸福の智慧
- ▷炎と血の証明
- ▷愛ゆえの命にかけて
- ▷星にきいてごらん
- ▷犬になりたくなかった犬
- ▷パービー・ヤール

国民年金は20才から加入

選挙権は登録してはじめて

このあと、芦穂地区の岡野任克君が成人者を代表して謝辞をのべ、公民館長の閉式のこぼで式を終った。式のおとは、予定のコースを終り、四時に帰町した。

国民年金は、ともすれば年をの仲間入りをしたあなたは国民年金の被保険者になりました。また、選挙権が与えられることになりました。

舟橋保(柿岡)吉田広司(柿岡)

30年以上勤続消防団員表彰

20年以上勤続消防団員表彰

- 皆川一郎(東成井)
- 20年以上勤続消防団員表彰
 - 倉持重男(下林) 大木 敏
 - (片岡) 鈴木祐一(柿岡)
 - 鬼沢利行(小幡) 込山守明
 - (小幡) 町田幹男(大塚)
 - 藤岡忠一(大塚) 桜井 道
 - (大塚) 友常充夫(大塚)
 - 岩田伸一(大塚) 高野作次
 - (小見) 拓植清作(小見)
 - 比賀辰雄(小幡) 杉山辰夫
 - (柴間) 本多義雄(真家)
 - 荒井重雄(山崎) 岩瀬 彰
 - (山崎) 岩瀬安雄(山崎)
 - 萩原一彦(弓弦)

町長表彰

感謝状

優良分団表彰

- 第31分団後援会(代表村田 捨吉) 塚田 光(柿岡) 永井 清(東成井) 永井 旭(山崎) 拓植孝夫(小見)
- 優良分団表彰
 - 第1分団(柿岡) 第16分団(吉生) 第27分団(小見) 第46分団(根小屋)

新玉の年明けし日の暖ければ惜しみてたばこ調理に坐る
句ひよきレモンの汁を皿にとり風邪癒えぬ子の唇をつめぬ
堤には雪残れども里川の瀬の音日毎高まりてきぬ

思つきり今日を生きあゝるしるしもちてつとめゆかなむ年明けにけり

工面しつつも晦日を送り明けて雑煮の味加減

逢うて嬉しや竹馬の友と結ぶ一夜の初夢に

母の情けに包まれ寝る見夢で木枯聴くのやら

義務と権利の自覚を胸に仰ぐ成人式の旗

選者

俳句

筆視洗いに洗ひ賀状書く
初御空仰げば何んかありがたく
豊作を今年も願ひ大鏡餅
片雲も無くて終日寺年始

東山崎 荒井岳山
小見 高野曉風
東成井 小池西保
選者

柿岡 鈴木文緒
上曾 岡野孝男
細谷 金沢翠柳
選者

青田 田上岳尾
小見 高野曉風
半田 関 以呂波
選者

くらしのそと

20才の “おしゃれ”

一月十五日は成人式。成人者のよそおいの美しさのポイントについて。成人になると、いままでのように、スカートにジャケットだけといったラフなものでは通らないことがよくあります。つまり、社会人としてのみだしなみが必要だからです。

女の人は上下そろいのツイード、また男性の場合は、背広はなくてはならない着物となるでしょう。二〇才になれば、それなりの服装の調和を考えなければなりません。調和はおしゃれのポイントです。たとえばあまり派手な色やおかしな色にすると、二〇才という若さをかえってやすっぽく、不潔な感じを与えるものです。洋服を着る人の顔スタイル、職業にもよりますが、だいたい地味な感じの着物を身をおおうほうが若さがでることでしょう。

起きやすい
“一酸化炭素中毒”
火を使うために起きる事故の一つに一酸化炭素中毒というのがあります。閉めきった部屋や、大勢の人が集まっているところで、炭や石油ストーブやガスを使い続けていると、ガス中毒を起すことがあり、ときどき部屋の空気を換えるようにしなさい。また、もし中毒にかかった人をみついたら、すぐに部屋の空気を換えるか、きれいな空気の所まで運び出して人工呼吸をしたり顔を冷たい水で洗ったりしてやっつけてください。